

クラウド名刺管理のSansan、 代表の寺田が徳島県職員研修の講師として登壇 ～“働き方を革新する”サービスとサテライトオフィスの取り組みを紹介～

クラウド名刺管理サービス『リンクナレッジ』『Eight』を提供する三三株式会社(本社:東京都千代田区、以下 Sansan)代表取締役社長の寺田親弘が、このたび徳島県から招聘を受け、県職員を対象にした研修で講演を行いました。



徳島県では入庁2年から6年程度の若手職員を対象に「主任主事級研修」を実施しています。寺田は「民間に学ぶ」という課目の講師として招かれました。この課目は企業の経営感覚を肌で感じるとともに、これから行政に必要な発想を学び、意識改革を図ることを目的としています。Sansanは世界のクラウド名刺管理事業におけるパイオニアであり、徳島県神山町に初めてサテライトオフィスを開設したことから、新しい働き方への挑戦を続ける企業として今回の登壇に至りました。

徳島県自治研修センターで行われた研修では、大企業を経てベンチャーを起業した自らの体験を通じた寺田のメッセージに参加した約90名県職員の皆様からも活発に質問が寄せられ、充実した時間となりました。

■サテライトオフィス『神山ラボ』について

Sansanは“ビジネスの出会いを資産に変え、働き方を革新する”という企業理念を体現するため、新しい働き方への様々な取り組みを行っています。その1つとして2010年10月より徳島県神山町の築70年の古民家を再利用したサテライトオフィス“神山ラボ”を開設。NPO法人グリーンバレーの協力のもと、これまで40名以上の社員が滞在を経験しています。

新しい働き方として評価され、2012年には日本テレワーク協会主催「第12回テレワーク推進賞」の優秀賞を受賞。ノマドワーク、コワーキングといった多様化する新しい働き方の1つとして注目を集めています。

◆神山ラボの詳細や滞在した社員の日記は、ブログ「神山からこんにちは」をご覧ください。

<http://www.33i.co.jp/kamiyama/profile>



三三は、今後も「新しい働き方」を創造・提唱すべく、事業を推進してまいります。

■参考資料

* Sansan株式会社について

所在地: 〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-15 JPR 市ヶ谷ビル 6F

設立: 2007 年 6 月

資本金等: 1 億 6,460 万円(内資本準備金 8,230 万円)

社員数: 70 名

事業内容: 名刺管理クラウドサービスの企画・開発・販売

- ・法人向け/名刺管理から働き方を変え、収益を最大化する Link Knowledge(リンクナレッジ)

- ・個人向け/名刺管理サービス Eight(エイト)

【Web サイト】 <http://www.33i.co.jp/>

Sansan は“ビジネスの出会いを資産に変え、働き方を革新する”ことを企業理念に、世界を変える新たな価値の創造を目指しています。

創業時より世界初の法人向けクラウド名刺管理サービス『Link Knowledge(リンクナレッジ)』を開発、特許を取得しました。2007 年からこれまでに約 800 社の企業に導入され、2012 年には Link Knowledge 国際版を発表、海外でも利用されています。名刺を入口に情報共有を促進し、営業強化・顧客管理・マーケティングに活用することで組織の働き方を変え、収益最大化に貢献します。

また、2012 年に“つなげて育つ名刺帳”としてソーシャルネットワークの技術を活用した個人向け名刺管理アプリ『Eight(エイト)』を提供開始しました。名刺のもつソーシャル性を活かし、新たなビジネス SNS のかたちを提案しています。